名古屋市蓬左文庫開館 90 周年特別記念講演会

『銅人腧穴鍼灸図経』研究の過去、現在、そしてこれから

2022 年度より、講演会や館報『蓬左』を通じ、蓬左文庫が所蔵する『銅人腧穴鍼灸図経』（『銅人経』）拓本に関する研究成果について、さまざまな切り口からお伝えしてきました。今回は歴史学・文献学・資料学の 3 名の専門家がパネリストとして登壇し、『銅人経』が持つ文化財としての貴重さと歴史資料としての重要性、そして、3 年間にわたる『銅人経』研究の現在地と今後の研究の可能性について縦横に語ります。

パネリスト

立命館大学文学部 教授
井上 充幸 氏

×

東北大学大学院文学研究科 教授
大野 晃嗣 氏

×

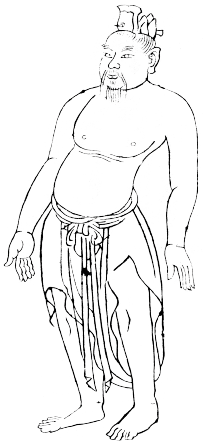
東京大学大学院経済研究科 講師
小島 浩之 氏

日時

令和 7 年 10 月 1 日（水）
13：30－15：00（開場 13 時）

会場

徳川園ガーデンホール
名古屋市東区徳川町 1001



参加費

聴講無料
＊徳川園入園料が必要（一般 300 円）

定員申込

80 名・当日先着制
＊当日 12:30 から徳川園（黒門口）にて整理券を配布します。なくなり次第終了。

『銅人腧穴鍼灸図経』（『銅人経』）とは？

北宋・仁宗の侍医、王惟一が記した鍼灸医学書。蓬左文庫に残る拓本（蓬左本）は、宮内庁書陵部本と並び、亡失した正統刻石から採拓された稀少な拓本。近年研究チームが進めてきた調査によって、蓬左本の裏打紙に用いられていた文書が明代の官文書（档案）であることが判明。人事記録や倉庫管理簿といった明代の行政システムの片鱗が窺える。

※障害等により特別な配慮が必要な方は、開催日の 2 週間前までにご相談ください。
※情報は今後変更する場合があります。ご来館前に最新の情報を蓬左文庫公式サイト・X(旧 Twitter) でご確認ください。

蓬左文庫
HOSA LIBRARY,CITY OF NAGOYA
〒461-0023　名古屋市東区徳川町 1001
【TEL】（052）935-2173
【FAX】（052）935-2174
【E メール】info@housa.city.nagoya.jp

＊拓本：石碑や器物にある文字や模様を紙に写しとったもの
画像：「銅人腧穴鍼灸図経」より / 名古屋市蓬左文庫蔵